

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-244470

(43)公開日 平成8年(1996)9月24日

(51)Int.Cl.⁶

B 60 J 11/00

識別記号

庁内整理番号

F I

B 60 J 11/00

技術表示箇所

A

審査請求 未請求 請求項の数3 書面 (全3頁)

(21)出願番号 特願平7-91233

(71)出願人 594109495

藤▲崎▼ トシ子

埼玉県狭山市狭山台3丁目3番地の11

(22)出願日 平成7年(1995)3月13日

(72)発明者 594109495

藤▲崎▼ トシ子

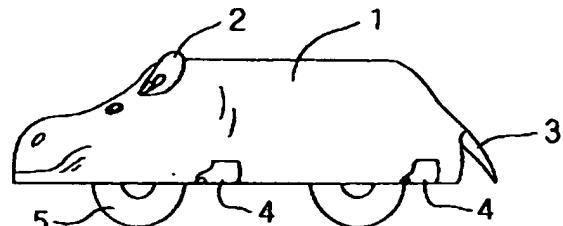
埼玉県狭山市狭山台3丁目3番地の11

(54)【発明の名称】 デザイン車カバー

(57)【要約】

【目的】 自動車に乗らないで停めておく間、楽しく停めておけるようにしたデザイン車カバーを提供する。

【構成】 自動車5にかぶせるためのボディカバー1には、耳2と尾3と足4が設けられており、カバの形になっている。足4はポケットになっており、小さな物を入れることができる。



1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】自動車のボディカバーを装飾的にしたデザイン車カバー。

【請求項2】自動車のボディカバーに絵、模様等を施したデザイン車カバー。

【請求項3】自動車のボディカバーを造形的に物の形にデザインしたデザイン車カバー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、自動車のボディにかぶせるデザイン車カバーに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、自動車のボディにかぶせるボディカバーは、機能一点張りで、形や模様が装飾的ではなく、殆ど地味な無地で、形もただ被うだけのもので変化がなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上述したような欠点を解決するためになされたもので、自動車に乗らない間も、おしゃれに楽しく駐車しておけるデザイン車カバーを提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】そこで、本発明の請求項1では、この目的を達成するために、自動車のボディカバーを装飾的にしたデザイン車カバーを提案する。また、本発明の請求項2では、自動車のボディカバーに絵、模様等を施したデザイン車カバーを提案する。また、本発明の請求項3では、自動車のボディカバーを造形的に物の形にデザインしたデザイン車カバーを提案する。

【0005】

【作用】本発明のデザイン車カバーでは、例えば、自動車に乗らない間、自動車のボディにかぶせておくとおしゃれで楽しく駐車しておくことができる。

【0006】

【実施例】以下、図面を参照して、本発明に係るデザイン車カバーの幾つかの実施例を説明する。図1は実施例1の使用時の側面図である。本実施例では、自動車5のボディにかぶせるボディカバー1には、外車の絵が描かれている。高額で手が届かないような高級車等を描いたものでは、少しでも高級車の雰囲気が味わえるように、自分の車にかぶせて楽しむことができる。

【0007】図2は実施例2の使用時の側面図である。本実施例では、自動車5のボディにかぶせるためのボディカバー1には、森の絵が描かれており、駐車しておく

間でも、回りの雰囲気を、ほっと安心感のあるものにしている。

【0008】図3は実施例3の使用時の側面図である。本実施例では、自動車5のボディにかぶせるためのボディカバー1はピンク色で、カバをデザインしたものである。また、別裁断での耳2と尾3と足4が付けられている。足4はポケットになっており、雑巾入れ等に利用でき便利である。

【0009】以上で具体的実施例の説明を終えるが、本発明は上記実施例に限られるものではなく、公知技術等を用いて種々の態様をとりえる。例えば、絵や模様は、自動車や森に限らず動物や虹、幾何学的模様等でもよく、実施例3でカバに限らずどんなものでもよい。また、実施例3のポケットをボディカバーに着脱自在にして、取り外したポケットを小物入れ等として使用できるようにしてもよい。また、色もピンクに限らず、発光塗料や発光布、発光テープ等を用いてもよい。また、名前などを千社札風にデザインしたものを、ボディカバーの数箇所にプリント等としてもよく、千社札の枠部分だけを描き込んでおき、このデザイン車カバーを購入した人が、その枠の中に自分の名前を書き込めるようにしてもよい。また、自動車のボディカバーだけでなく、オートバイや自転車等のカバーでもよい。

【0010】

【発明の効果】本発明のデザイン車カバーによれば、自動車に乗らない間、本発明のデザイン車カバーを自動車のボディにかぶせて駐車しておけば、自分自身で楽しめるのは勿論のこと、回りの雰囲気をも、和やかな明るいものにしてくれるのに有効である。従来、味気無い駐車中の車を、楽しく停めておくことができるで人や環境を和ませて重宝である。また、実施例3のものでは、ポケットが付いているので、雑巾やハケ等のちょっとしたものを入れておくのに便利である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のデザイン車カバーの実施例1の使用時の側面図である。

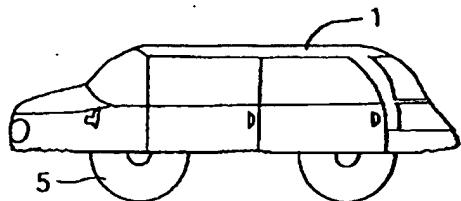
【図2】実施例2の使用時の側面図である。

【図3】実施例3の使用時の側面図である。

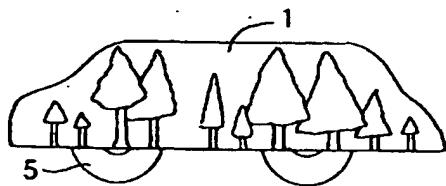
【符号の説明】

- 40 1 ボディカバー
- 2 耳
- 3 尾
- 4 足
- 5 自動車

【図1】



【図2】



【図3】

